

	■ 所属 総合理工学科 建築学系	■ 職名 教授
	■ 氏名 村上 晶子 (Akiko Murakami)	
	■ 研究分野 建築設計・建築意匠	■ 研究分野キーワード 建築意匠、教会建築
	■ 研究テーマ 建築の初源において人類は「住むための空間」と同時に「集まり祈る空間」も創出してきた。村上研究室では「集まり祈る空間」の歴史的、社会内成立性を踏まえて、教会建築の生成過程のプログラムに着目し、現代社会における設計行為と設計方法について研究し活動している。設計行為が成立するための社会内成立性を学ぶと共に、計画、構造、設備を含めた建築を決定する要素と、意匠デザインにおける光の効果、ディテール、プロポーション、素材などを学び美しい環境を創造することに寄与できる力を養う。設計競技や実践を通して具体の建築を組み立てることに重点を置き活動している。	
■ 文献		
☐ 1 2 の祈りの空間 村上晶子教会への希求 単著 建築画報社 2012年3月		
☐ 建築設計のための行く／見る／測る／考える（発見・発想・試行のフィールドとデザイン） 共著 日本建築学会編 2011年12月		
☐ 「講座 日本のキリスト教芸術2 美術・建築編」 共著 日本基督教団 2006年9月		
☐ 「ことば」と「ひかり」村上晶子アトリエの仕事『建設ジャーナル2007年8月』		
☐ 連載 礼拝と音楽151号～155号 日本キリスト教団出版局 2011年秋号～20125年秋号 ・（神戸中央教会・山口カルメル会修道院・菊名教会・調布教会・聖イグナチオ教会）		
☐ 祈りの空間をつくる μ（明星大学物性研究センター編）2007年4月		
☐ コラム「ことばと建築」平成19年7月風韻（電通報-風韻）		
☐ 21世紀に向っての新しい教会『建築技術1999年10月号』（建築技術社1999年）		
☐ 新しい教会への長いみちのり『聖イグナチオ教会献堂記念集』2000年		
☐ 祈りの空間『新建築 2002年12月号』（新建築社 2002年）		
☐ 『ART BOX IN JAPAN現代日本の建築Vol. 1』（アートボックス社2004年）		
☐ 静寂な祈りの空間と社会活動の場をつくる『新建築 2005年1月号』（新建築社2005年）		
☐ 2006年4月「INAX REPORT」166号祈りの会堂のオリエンタルな空間		

■ 解説・総説

■ 著書

■ 招待講演

■ 主な研究設備等